

仙台市太白山自然観察の森 情報誌2025年9月号

森のおくりものの9

NO.408 The Gift from Woods

マムシグサ（サトイモ科）



4月下旬から6月上旬に花を咲かせていたマムシグサにはメス株とオス株があり、メス株はこの時期から実が色付き始め、黄色から橙色、赤色に変化します。いよいよシーズンは秋！紅葉を前に森ではノイバラやガマズミは赤色に、ムラサキシキブやヤブムラサキは紫色など、木の実や草の実が森を彩ります。実りの秋の変化を楽しんでください。【館長：佐藤由美】

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

『真昼の星（まひるのほし）』

8月は全国的に厳しい暑さで、仙台でも猛暑日の最多記録が更新されました。セミの大合唱が鳴り響き、姿は見えなくても暑さを助長させる存在感を放っています。雨があまり降らないことも気温が下がらない要因です。水不足が深刻で、自然観察の森でも降水量が少なく、池の水が干上がりそうでした。

久しぶりに雨が降った日の朝、あちらこちらにクモの網が張ってある光景に出会いました。クモの糸は透明で目立たないのですが、光の状況や水蒸気がクモの糸に絡んだときに、よく見えるようになります。光が当たり銀河のようでした。普段は気づかないけど、こんなにたくさんあったんだと見惚れました。

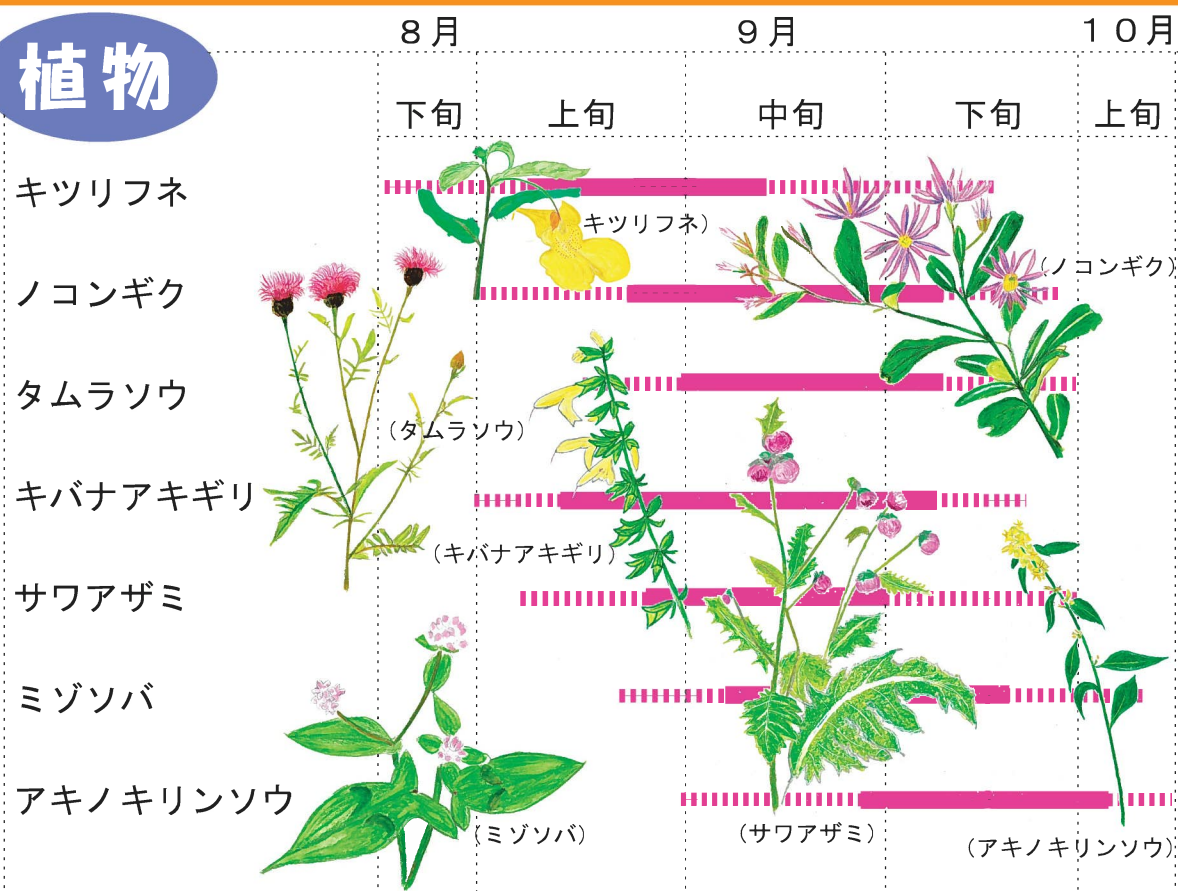
そのようなことを表すことわざや四字熟語があるか探してみました。ことわざにはなっていませんが、「真昼の星」という素敵な言葉をみつけました。小説や曲のタイトルになっていて、「日中は太陽の光で見えないだけで、確実に星はある」ことから、「見えないものだけど本当はそこに存在する、普段は意識していないけれどもなくてはならないもの」などの意味で使われています。「みんなちがって、みんないい」のフレーズでおなじみの童謡作家金子みすゞの『星とたんぽぽ』の詩にも「昼のお星はめにみえぬ。見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。」という一節があります。100年前に作られた詩ですが、古さを感じず心に響きます。

興味がないと見ないかもしれませんが、ナメクジが這った跡は、光の状態によって星雲のように美しく輝くので、私はよく覗き込んでいます。目に映るのが全てではなく、見ようとしなければ見ないので、気づかないことも多いと思います。視点や時間を変えて自然を見ると新しい発見があるかもしれません。いろいろ探して楽しんでみてはいかがでしょうか。 【レンジャー：新田隆一】



9月の生物ごよみ

植物



- 8月1日 7月の平均気温が統計史上最高値、基準値と比較して2.89度上昇した。危険な暑さはいつまで続くのか。
- 8月2日 仙台で久しぶりに雨が降る。最近、雨が降らなかったので植物にとっては恵の雨だった。
- 8月7日 トンボの沢でキツネノカミソリが咲き始める。
- 8月8日 ヨシの湿地付近でドンダリの付いたクヌギの枝がたくさん切り落とされていた。ハイイロチョッキリの仕業のようだ。
- 8月14日 やすらぎの道でクサギがたくさん咲いていた。
- 8月17日 熱中症アラート発令のため今月2回目のガイドウォーク中止。
- 8月20日 うだるような暑さがなくなり、さわやかな風が変わる。
- 8月21日 やすらぎの道でアカボシゴマダラ（特定外来生物）が飛んでいた。観察の森でも定着したようだ。
- 8月22日 センターで飼育しているスズムシが鳴き始めた。
- 8月23日 クズが咲き始める。他にはやすらぎの道でツクシハギが咲いていた。アオハダの実が赤く色づき始めた。
- 8月28日 先月から飼育を始めたニホンウナギがはじめてエサを食べる。野生のウナギはなかなか慣れずエサを食べないが一安心。

【レンジャー：齋 正宏】

森の「あれこれ」



「こんなかわいい花なのに」



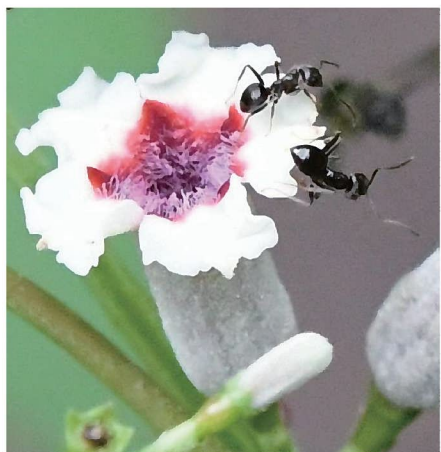
ちぎった葉の匂いを嗅ぐとみんな微妙な顔になりました。「この植物はヘクソカズラと呼ばれています」と言うとどっと受けた人が半分（特に子ども）、あとの人はさらに微妙な表情（笑）。なんといっても“屁”に“糞”なので。ちなみにカズラとはつる植物のことです。

この匂いを私はそれほど臭いと感じませんが、名前のためか悪臭とのイメージが定着しているようです。

左の写真は観察センター周辺のもので、街中でもちょっとした空地や雑草が残っている公園でも見つかります。まだ花がある時期なので是非見て欲しいのですが、花はかわいい姿をしています。小指の先ほどの白い円筒形で先が五裂しており中心が赤紫色、ルーペで見るとなんとも可憐ですよ。



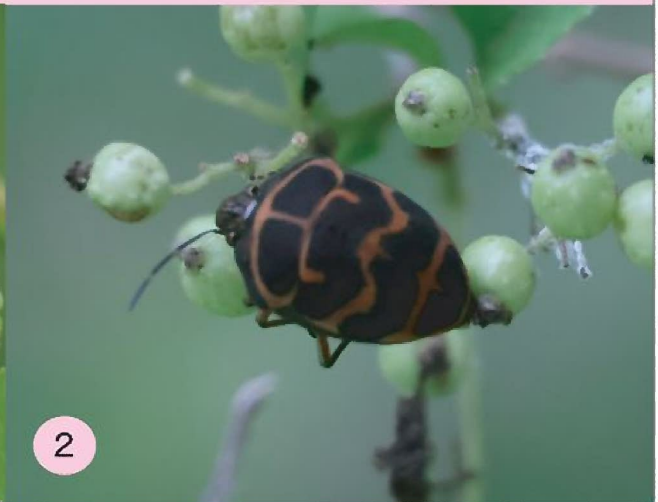
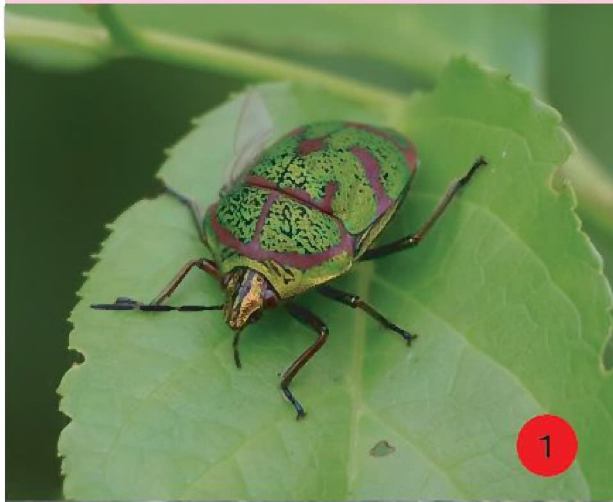
ヘクソカズラの名前があまりにかわいそうでサオトメカズラ（早乙女葛）と呼んではどうかと意見がありました。早乙女は田植えをする女性のことですが白い菅笠に赤いたすきを連想したらしく、こちらの方が個人的にはしっくりきます。



観察していると小さなハチやアリの仲間が花を訪れました。アリも受粉にかかわるのかじっくり調べてみたいと思います。受粉した花はやがてオレンジ色の液果になります。その実はツグミの仲間など野鳥にとって大切な冬の食料です。そして人はその実でしもやけ・あかぎれなどの薬を作りました。かつては私たちともかかわりが深い植物でした。

【レンジャー：木田秀幸】

森は生きている



① 金属光沢が美しいアカスジキンカメムシです。② 色違いですが、これもアカスジキンカメムシで黒化型です。③ 親とはぐれてしまったのでしょうか、おそらくトガリネズミの赤ちゃんではないかと思います。④カミキリムシの仲間の中では国内最大種のシロスジカミキリですが、環境の変化に敏感です。⑤ 殻に毛が生え、レンズ型の扁平な形をしているオオベソマイマイ属のカタツムリの仲間です。



まだまだ暑さが続いています、雨の量も少なく、一時期は森の中のヨシの湿地の水位が低くなり、水の中の生き物たちを心配することもありました、観察の森だけではなく、地球全体で年々気候も変化し、予測できないことも起こりますが、でも自然は季節の流れに沿って、森の表情を少しずつ変えていきます。

【レンジャー：菅井 潤】



イベント & お知らせ

◆『親子むしむし探偵団(秋の虫編)』

・ 10月4日(土) 10:00 ~ 12:00

【内 容】 散策路を歩きながら昆虫や小さな生きものを探し、その特徴を観察します

【対 象】 小学生以上の子どもとその保護者 10名

【申込み】 Eメールにて9月20日(土) 必着で(抽選)

◆『きのご観察会』

・ 10月18日(土) 10:00 ~ 11:30

【内 容】 専門家の講師の解説を聞きながらきのを探して観察します

【対 象】 小学生以上 20名 (中学生以下は保護者も参加)

【申込み】 Eメールにて10月4日(土) 必着で(抽選)

◆『秋の森の葉っぱあそび』

・ 10月25日(土) 10:00 ~ 12:00

【内 容】 葉の大きさを比べたり落ち葉や木の実で顔を作ったりして自然を楽しみます

【対 象】 小学生以上 10名 (中学生以下は保護者も参加)

【申込み】 Eメールにて10月14日(火) 必着で(抽選)

※申込み専用メールアドレス taihaku@sendai-park.or.jp 詳細はこのQRコードを読み取り



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

開催日: 7日, 14日, 21日, 28日

開催時間: 10:00~11:30

※時間までにセンター前へお集まりください

申し込み不要。飲み物、かつぱ、歩きやすい服装と靴で。

9月の休館日

1日、8日、16日

22日、29日

※月曜日が祝祭日の場合、
翌日以降の平日が休館



宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
② 長町駅東口 乗車時間 約30分
③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
【行先】 ①②③ 「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白団地 山田自由ヶ丘経由仙台南ニュータウン行」)
いずれも 公営アパート前 下車→徒歩15分



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

観察の森へのアクセス



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで!

2025年 9月号

発行: (公財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「仙台市公園緑地協会」URL: <https://sendai-green-association-jp/green/taihakusan/>